資料②

「児童が身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める」姿とは、　　R6年度　言語部
児童が「〇〇したいな」という思いをもち、その実現のために「どのような言葉や表現に着目したらよいか」「どのように学習を進めたらよいか」と考え、行動する姿

「書くこと」においては、
「身に付けたい力を意識している」姿…「〇〇に～を伝えたい」という思いをもち、「相手や目的のために、どのように言葉や表現を使うとよいのだろうか」と考え言葉や表現を吟味している姿
「自ら学びを進める」姿　　…「単元の学習計画を立て、次は何をするのかという見通しをもって学習に取り組む」姿や「方法や対話の相手を必要に応じて選択している」姿、
「毎時間の進み具合を振り返って、次の時間に行うことを考えるなど自己の学びを調整している」姿

語彙単元（H29～R1）
①②
単元の学習課題の設定
学習計画

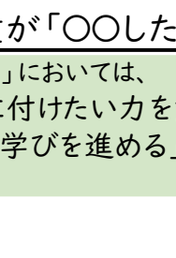
〇〇をしよう!/〇〇マスターになろう!

まずは、どんな言葉があるか、集めてみよう。本で探したりインタビューをしたりしたら見付かりそうだよね。



出合う
①
言葉との出合い
語彙・文章・事象・相手

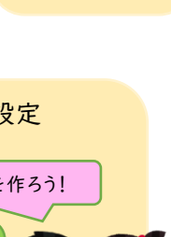
本当かな?　やってみたいな!　どうなっているのかな?　この人物はどうして〇〇したのかな?　おもしろそう!　もっと知りたいな。



「書くこと」（R5～R7）
①②
単元の学習課題の設定
学習計画

〇〇のことを伝える～を作ろう!

そのためには、どうしたらいいかな。まず…。
何をどうやればできそうか、順番を考えてみよう



言葉のよさに気付き、言葉への自覚が高まる単元構成（言語部）
①「どうなのだろう」「～したいな」が生まれ、単元の学習課題ができる。
②「どうやったら…」学習計画を立てる。＝自ら学びを進める
③どのような言葉や表現に着目して考えるか。＝身に付けたい力を意識
④方法や相手などを選択する・次の活動を考える。＝自ら学びを進める
⑤言葉による見方・考え方を働かせる。
⑥学習を振り返り、言葉への自覚を高める。＝身に付けた力の自覚

「読むこと」（R3～R4）
①②
単元の学習
課題の設定
学習計画

２人の関係が今後どうなるか考えたいな。続きを考えてみるのもおもしろそう。

心情の変化を調べてから、関係に迫ろうか。



親しむ　『風切るつばさ』（東京書籍）だったら（R4：6年）

クルルとカララは、この後どうなるんだろう。

クルルはどうして飛べなくなって、どうしてまた飛べるようになったんだろう。

クルルの変化には、カララが関係あると思うな。



③
問い（読みの課題）をもつ

身に付けたい力を意識する

まずは、クルルの心情に着目して読んでみよう。

心情が分かるところに印を付けよう。

心情が分かる表現にはどんなものがあるのかな。

変化をグラフにまとめてみようかな。



④
自分の考えをもつ（1）
学習の進め方を考える・選ぶ

自ら学びを進める

…翼の音すら、みっともない雑音に…

翼の音すらっていうことは、鳥にとって当たり前のことでさえもということじゃないかな。

がじゃなくて、すらっていう表現が強い苦しみを表していると思う。



語句をより理解するための方策が使える
①有無
②言い換え
③経験の想起
④辞書的な意味
⑤動作化

他者との対話
対話の相手を選ぶ

自ら学びを進める

自分だったら、何だろう。足音とか、呼吸の音とか…。



クルルが飛べなくなっちゃったのは、心のせいなんだ。自分を責め続けて嫌で嫌でどうしようもなくなってしまったんだね。（解釈）



⑤
自分の考えをもつ（2）
問いに対する自分の答え

見方・考え方を働かせる

次は、カララとの関係を考えてみようかな。

クルルが飛べなくなっちゃったのは、心のせいなんだ。自分を責め続けて嫌で嫌でどうしようもなくなってしまったんだね。（解釈）

副助詞に着目して意味を比較することで、人物の心情がもっと詳しく分かるんだね。



⑥
振り返り：言葉の意味や役割、効果を整理

身に付けた力を自覚する

親しむ　「思い出ブックを作ろう」だったら（R5：2年）

プールでじゅんびうんどうをしていたとき、空を見ました。くもがおもしろかったです。



もうちょっと詳しくしたいな。

おもしろかっただけじゃなくて、雲の様子を詳しく書いてみようかな。

プールのことを書いている友達に相談してみようかな。

ことばノートを見てみようかな。

おもちみたいは、どうかな?





もふもふは、犬とかぬいぐるみとか…

ふわふわよりもこもこの方がちょっと固そうだね。

おもちみたいにふくらんだだと雲がどんどん増えた感じかするね。

③
個人の学習課題をもつ
学習の進め方を考える

身に付けたい力を意識する

④
自分の考えをもつ（1）
学習の進め方を考える

自ら学びを進める

語句をより理解するための方策が使える

雲がどんどん大きくなったのが一番よく分かるのはどれかな。

「おもちみたいにふくらみました。」にしようかな。

「もこもこ大きくなりました。」っていうのもいいかも。



他者との対話
対話の相手を選ぶ

自ら学びを進める

プールでじゅんびうんどうをしていたとき、空を見ました。くもがおもちみたいにもこもこ大きくなりました。おもしろかったです。

これに決めた!
なんでおもしろかったのかも分かりそうだ。



⑤
自分の考えをもつ（2）
個人の学習課題に対する答え

見方・考え方を働かせる

様子を表す言葉を使って書くと、思ったことが分かりやすく書けるんだね。



読み合って感想を送り合う
⑥
振り返り：言葉の意味や役割、効果を実感

身に付けた力を自覚する

生かす

言葉への自覚の高まり

言葉は、人をうれしい気持ちにさせることができるんだね。でも、その反対もできるんだ。



豊かな言語生活

生かす

この言葉を言ったらどんな気持ちになるかなとか、今は、この言葉で大丈夫かなって考えて話してみたいな。

「おかげさまで」を今度使ってみよう。

手紙に「また会いたいな」って書こう。喜んでくれるかな。

今度の物語も、『風切る翼』のときみたいに副助詞に注目して読んでみようかな。



できる気が全くしなかったということを伝えるために「すら」を使って書いてみたよ。

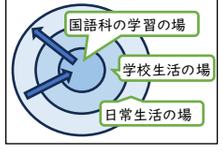
テレビを見ていたら、新しい表現を見付けたよ

日直のスピーチをするときに、「～みたい」を使ってみようかな。

大笑いじゃなくて、ちょっと笑ったっていうのを伝えるために、「くすくすわらいました」って書いてみたよ。

日常化（次単元・生活）

豊かな言語生活（都小国）
言葉を使ってコミュニケーションを円滑に行い思考や感情を的確に表現できること。



豊かな言語生活（言語部）
言葉そのものへの興味・関心をもったり、意識して言葉を使いよりよく人と関わったりしながら生活すること
ア：言葉そのものへの興味・関心
イ：自己内対話
ウ：他者とのコミュニケーション